

# 共生社会の実現を

## 室蘭言泉学園 70周年



昨年12月にあった室蘭言泉学園のクリスマスパーティー（提供写真）

## 26日に公開記念講演



開設70周年公開記念講演を周知するポスター

室蘭市母恋南町の障害児入所施設「室蘭言泉学園」は、昨年6月に開設70周年を迎えた。施設を運営する母恋北町の社会福祉法人室蘭言泉学園（菅野登一郎理事長）は、26日午前10時から輪西町の市民会館で開設70周年公開記念講演を開く。共生社会の実現に向けて広く市民に参加を呼び掛けている。（奥野浩章）

同施設は、1949年（昭和24年）6月、辻本知事認可を受けて室蘭言泉、もと夫妻が聴覚障害児の生活を支援に養護施設を開設したのをはじめ、

苦小牧、伊達両市に事業所を設置。現在は12事業所で24事業に取り組む。現在の室蘭言泉学園では、障害のある子どもの発達支援、18歳以上の障害者の生活介護、一般就労へのステップとなる就労継続支援B型事業など、障害者事業サービス幅広く提供。開設以来の利用者総数は320人以上を数える。菅野理事長は「仕事は利用者の人生の質を高めること」と決意を述べる。

2018年度（平成30年度）から、国が障害者支援の在り方を示す第4次障害者基本計画（5カ年）がスタート。室蘭言泉学園は「計画の目指すところは共生社会の実現」と捉え、障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい社会、一人一人が多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」の考え方を広めることを目指している。

共生社会の実現へ具体的な行動として、開設70周年公開記念講演を企画。小児まひによる障害がある元内閣府障害者制度改革担当室長の東俊裕さんを講師に迎え、障害者が健常者とともに暮らせる地域社会について考える。市内障害者福祉事業者によるシタケ、パンなどの販売、室蘭言泉学園の児童生徒によるハンドベル演奏や歌の発表などもある。

室蘭言泉学園の佐々木弘美課長は「共生社会の実現について、理解してもらつ機会にしたい。子どもたちの頑張りも見てください」と来場をPRしている。

入場無料。会場では車いす用座席や手話通訳・要約筆記利用を用意するほか、障害のある子どもと一緒に会場の様子を映像で見られる部屋も設置する。問い合わせ、申し込みは室蘭言泉学園本部事務局、電話0143・50局6720番へ。